

令和7年2月13日（木）
義務教育課 教科指導係
担当：高橋
電話：027(226)4615 内線：4614

県立みらい共創中学校の校章及び校歌について

1 校章及び校歌の作成について

令和6年度中の完成を目指し、開校後に生徒とともに作成した。

2 校章

（1）校章作成のプロセス

- ①美術、総合の授業において、本校のイメージを生徒と共有
- ②生徒がイメージした言葉や形をデザイナーと共有
- ③デザイナーがデザインしたものを職員で検討

（2）完成した校章（ロゴタイプも含む）



群馬県立みらい共創中学校
GUNMA PREFECTURAL MIRAI KYOSO JUNIOR HIGH SCHOOL

（3）校章作成のコンセプト

～「みらい」と「未知」が重なり合う交差点～

みらい（未来）の「み」と「来」を組み合わせたシンボルマーク。反転した「み」は未知や過去を表しており、交差する中心が本校での時間や学びを表す。これまでとこれからの人生をつなぐ役割を担う学校を表現している。

〔参考〕デザイナーのプロフィール等

氏 名：澁澤 麗（しぶさわ れい）氏 <SANZUI DESIGN_サンズイデザイン>

経歴等：1986年生まれ 群馬県桐生市出身

群馬県立西邑楽高等学校芸術科美術コース（2002～2005年）から東京造形大学造形学部絵画専攻（2005年～2009年）に進み、デザイン事務所などを経て、2021年 SANZUI DESIGN 設立。前職で「Gメッセ群馬_サインデザイン」「広島平和記念資料館_サインデザイン」等を制作。

群馬県が掲げる多文化共生・共創社会の理念や、生徒一人ひとりが学校の新しい歴史を創って欲しいという願いに理解と共感を示し、理念に即したデザインを期待できる、本県出身のデザイナーである。

3 校歌

(1) 校歌作成のプロセス

- ①音楽、総合の授業において、本校のイメージを生徒と共有
- ②生徒がイメージした言葉や曲調を基に、音楽教諭（福島誠一）が作詞、作曲して、職員で検討
- ③編曲者に依頼して完成

(2) 完成した歌詞等

1 風^{かぜ}に^の乗り 夢^{ゆめ}を^お追いかけ
知^ち恵^えと^{ゆう}勇^き気^きを^{かさ} 重^あね^あ合^あい
共^{とも}に^{つく}創^きろ^ずう^な 絆^{きず}感^なじ^{かん}て
歩^{ある}き^だ出^{あら}す^{たび} 新^{あら}た^{たび}な^{たび}旅^{たび}へ

作詞	令和6年度在籍生徒・職員一同
作曲	福島誠一
編曲	渡邊響子

2 赤^あ城^かの^のす^{ひろ}そ^{だい}野^ち 広^{ひろ}がる^{だい}大^ち地^ち
皆^{みな}で^{はげ}励^{たす}まし^あ 助^あけ^あ合^あい
愛^{あい}と^き希^ぼ望^うを^む 胸^むに^ね秘^ひめ
明^あ日^すを^え描^がく^き み^きら^きい^き共^き創^き中^き学^き校^き

(3) 校歌作成のコンセプト

- ・親しみやすいものであること
- ・歌唱や伴奏がしやすいものであること

〔参考〕編曲者のプロフィール等

氏 名：渡邊 響子（わたなべ きょうこ）氏

経歴等：2001年生まれ 群馬県館林市出身

日本大学芸術学部音楽学科作曲コースに在学中。（2025年3月卒業見込）

これまでにピアノを木村美紀、賀集裕子の各氏、エレクトーンを土澤幸、寺林可奈子の各氏、作曲を伊藤弘之、小林純生の各氏、和声法を伊藤祐子氏に師事。

2009年及び2010年ピティナピアノコンペティション優秀賞、第一回スタインウェイピアノコンクール優秀賞、2014年及び2016年ヤマハジュニアエレクトーンフェスティバル中学生部門銀賞受賞。

歌手 堀優衣氏とエレクトーンで共演。よさこいチーム「庄和ソーラン輝（きらり）」へのオリジナルソング提供、配島徹也監督長編オリジナル映画「重ねる」音楽担当など、作編曲の活動の幅を広げている。

大学在学中に、映画音楽を依頼されるなど実力には定評がある。幼少期から現在まで群馬県を生活の拠点としており、本県に対する愛着や愛情が深い。